



フレンズホーム30周年記念誌

高齢者福祉施設の 革新性と可能性

編著 飯田能子



はじめに

本書はフレンズホーム開設30周年記念誌として編集したものである。

従来型特別養護老人ホームの施設経営・施設ケアの変遷を知る事が第一の目的であるが、同時に社会福祉法人日本フレンズ奉仕団の設立の契機となった歴史を紐解き、今日までの事業活動の軌跡を物語として描くことで、将来のビジョンの道標となることを念頭に置いた。

第2次大戦の戦禍がまだ残る1949(昭和24)年に、国有地の一角でアメリカ・フレンズ奉仕団が保育園を開設した。兵舎が被災者の住宅に転用され、親は生きるために必死であった。1951(昭和26)年に制定された社会福祉事業法により、1953(昭和28)年に社会福祉法人日本フレンズ奉仕団が設立され、おともだち保育園は認可保育園として新たに出発した。

園舎は1968(昭和43)年に建て替えられたが、高齢化社会に対応するためのゴールドプランを推進する世田谷区の施策が「児童と高齢者の複合施設」建設の道を拓き、1990(平成2)年3月26日、「フレンズ世田谷センター」の開設となった。

したがって、この30年は単なる従来型特養の歴史に留まらず、下馬2丁目の現在地を舞台に展開した地域活動、戦後介護保障の一大転換点である介護保険制度の導入前後にも光を当てながら、今、問われている社会福祉法人のミッションに一つの答えを出した。

本書が、先人へ感謝の意を伝える報告書として、また法人職員の必携の書として、さらには福祉の分野に携わる人々に伝える実践の証として、読んでいただければ望外の幸せである。

社会福祉法人 日本フレンズ奉仕団
理事長 飯田能子

はじめに 3

I. 前史 6

1. エスター・B・ローズとアメリカ・フレンズ奉仕団 7
訪日の決断/太平洋戦争中の日系人強制収容所とアメリカ・フレンズ奉仕団
「クウ」の代表として/超人技の手腕
2. アメリカ・フレンズ奉仕団による戦後の社会活動 9
おとどもち保育園の開設/芦山ネイバフッドセンターの設置
社会福祉法人日本フレンズ奉仕団の設立
おとどもち保育園の旧園舎建て替えとネイバフッドセンター事業の閉鎖

II. フレンズホームの歩み 14

1. 児童と高齢者の複合施設の建設 ～推進役・磯村卓郎とキリスト友会～ 15
2. 開設から8年間の歩み ～初代施設長と老人福祉法による施設運営～ 16
3. 第2代施設長の時代 ～介護保険制度による施設経営～ 18
 - (1) 老人福祉部門の管理運営組織の整備 ～就任1年目～ 18
「生活のアートを演出する」～モットーが生まれる土壌に降り立つ～
新体制の構築 ～4施設職員組織図が初めて描かれる～
 - (2) 介護保険制度の導入 ～特養ホームの夜明け前～ 19
立ちほだかった二つの開門/施設が直面した経営問題
 - (3) 高齢者福祉部門の経営 ～経営理念と事業計画の立案～ 21
経営課題の本丸 ～給与改定に着手～
経営理念と経営方針
 - (4) 不慮の死 ～吉野正志さんのこと～ 23
 - (5) ホームの顔 ～嶋田安次さんのこと～ 25
 - (6) 福祉施設の研修機能 27
職員研修大会 ～事例発表を通して職員の育成を図る/フレンズホームの介護技術検定
実習生・研修生の受け入れ ～専門学校実習生から人事院研修所初任者研修まで～
 - (7) 広報活動——フレンズホームからの発信 31
 - (8) 施設長の村外活動 ～制度の変遷と世田谷区との関わりの中で～ 33
【介護保障制度を考える】シンポジウムのパネラー
世田谷区地域保健福祉審議会 介護保険専門部会委員
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画改定委員会委員
世田谷区内施設長会会長/NHKスペシャル「介護人材は逃げていく」の取材協力
下馬地区社会福祉協議会運営委員

III. フレンズホームの挑戦 ～「ケア」と「空間」への視点～ 42

1. 自立支援の介護 43
 - (1) 口腔ケア ～肺炎による入院から解放される 43
 - (2) 個浴ケアの実現 ～介護の現場を刷新させた原動力～ 44

- (3) 自然排便 ～トイレに座って～ 45
- (4) 常食化 ～人間の尊厳を保持して、長期までおいしい食事を～ 47
- 2. 従来型特養の改修が目指したもの 50
 - (1) 従来型かユニット型か ～制度の狭間への視点 50
 - (2) 大規模修繕と準・個室化 51
 - (3) 浴室改修 ～機械浴から栓風呂へ～ 52
 - (4) 看取り室の整備 54
 - (5) 職員食堂からカフェ・ダイニングへ ～職員ファーストへのこだわり～ 57
- 3. 施設のIT化 ～ケアと空間をつなぐ～ 60
 - (1) 記録の電子化 60
 - (2) 情報の共有化が可能としたもの 61

IV. 地域共生社会の中の社会福祉法人 62

- 1. 地域福祉活動の歩み 63
 - (1) 終戦直後の活動から引き継がれたもの 63
 - (2) 事業所を結ぶボランティア交流会 64
 - (3) フレンズ・リサイクルバザーの系譜と地域福祉 65
日本フレンズ奉仕団50周年記念バザーと下馬生活学校リサイクルバザー
リサイクルバザーの第2段階
 - (4) 新しい公共——事業者としての地域活動 67
 - (5) 地域貢献事業の取り組み ～フレンズ・サポートに結実した地域活動～ 69
下馬二丁目北町会との協働による地域活動 ～フレンズ朝食会・買い物支援隊～
地域関係者懇談会の開催 ～法人の公益的な取り組みについての模索～
地域貢献事業「フレンズ・サポート」～高齢者の自立を支える～
- 2. 社会福祉法人とガバナンス 74
 - (1) 社会福祉法人日本フレンズ奉仕団の設立と経緯
～定款に見る「目的」と「役員」「事業」等の推移～ 74
社会福祉法人設立認可/高齢者福祉事業参入に伴う定款変更
常務理事による経営改革 ～高齢者福祉部門の組織化～
 - (2) 社会福祉事業法から社会福祉法 ～二つの部門間に横たわる意識の差～ 76
 - (3) 改正社会福祉法と内部統制
～常勤理事長による本部事務局の強化と児童福祉部門の組織改革～ 76
- 3. フレンズの経営理念に立ち返って ～革新性と可能性～ 78
 - (1) 法人マークの誕生 78
 - (2) コミュニティワーカーのプロ集団 79

エピローグ 編集後記にかえて 81

資料編 83

- 1. 年譜 日本フレンズ奉仕団の歩み/2. 歴代の理事長・常務理事・施設長・園長
- 3. 掲載紙/4. 対外活動/そよかぜ/介護川柳/フレンズホーム令和2年1月の献立
改修工事一覧/日本フレンズ奉仕団事業概要/編著者略歴